

1億人ではなく
100億人を見据えた
農林水産・食品産業へ

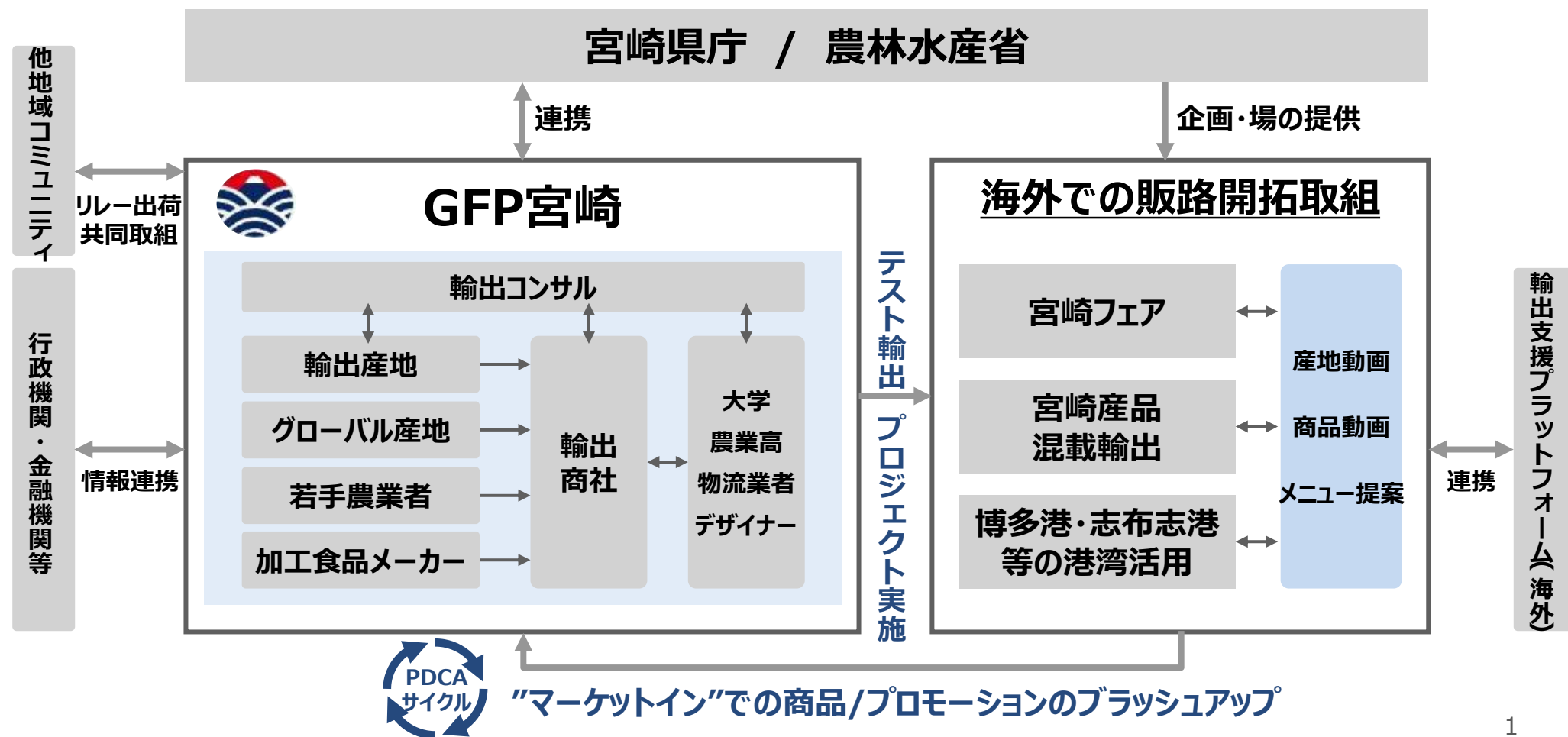
GFP宮崎輸出フォーラム (2026/7/30)

アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部

小栗 史也

“GFP宮崎”のコンセプト

宮崎県庁が中心となって“GFP宮崎”を組成し、宮崎から輸出を目指す皆様の輸出チームづくり～海外での輸出取組を共同実施しながら、一気通貫でPDCAを回せる仕組みを構築。



GFP宮崎輸出フォーラム

輸出セミナー



輸出先進事例の共有・ 輸出機運醸成

- 宮崎県の輸出拡大の方向性・輸出プレイヤーの先進的な輸出産地づくり・輸出取組を紹介
- 宮崎産品の輸出の現状・可能性・輸出拡大に向けたヒントを共有

グループ交流会



輸出チームづくり・輸出戦略・ アクションプランの検討

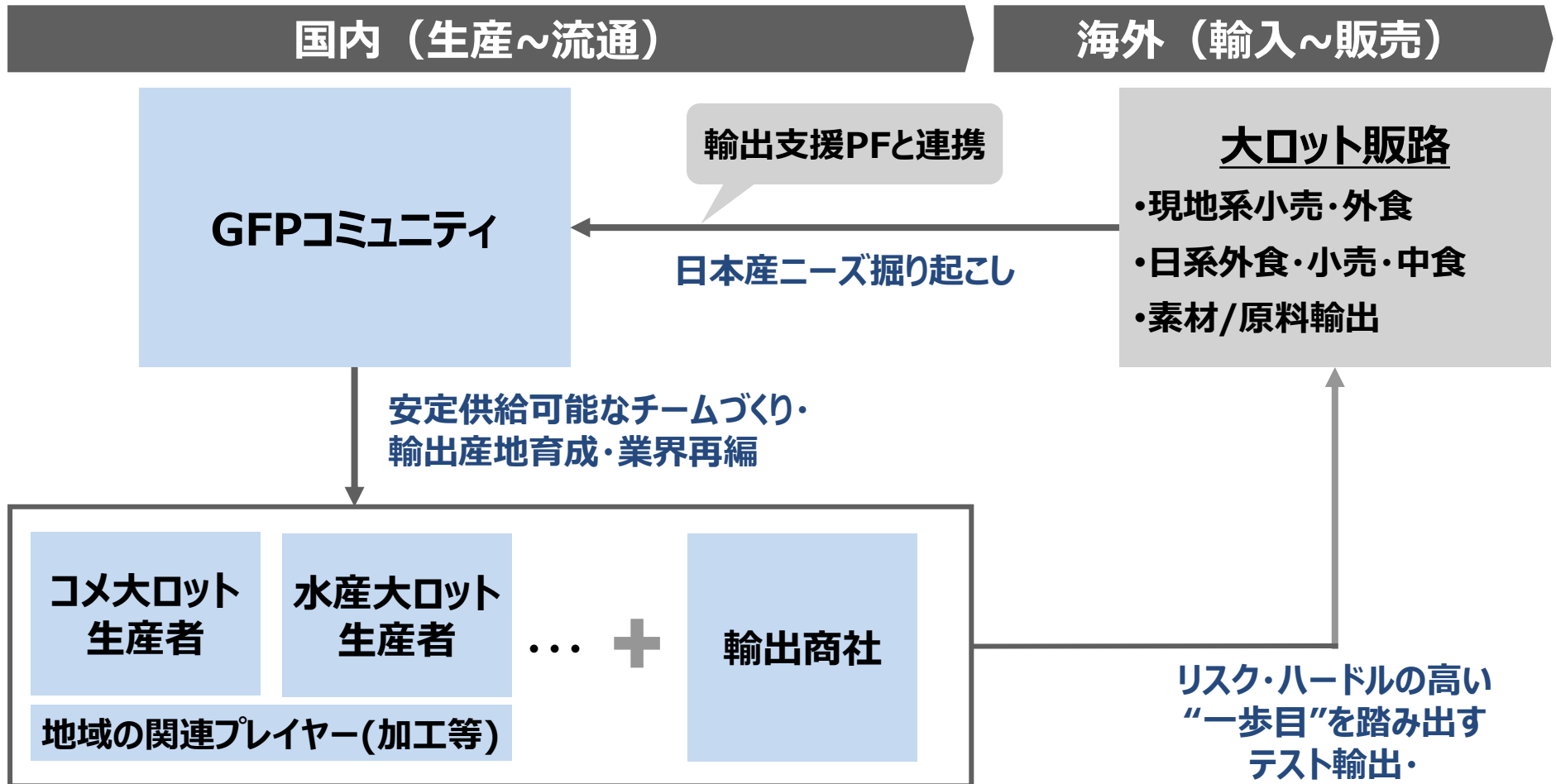
- 品目毎にグループワークを行い、宮崎産品の輸出の目指すべき方向性・課題・必要な施策・取組を共創
- 複数の生産者・輸出商社のサプライチェーンを構成するメンバーで輸出チームを組成し、具体的な輸出商談に繋げる

セミナー登壇者

事業者名	対象国	事業者概要
薩摩園鎌田茶業 (宮崎)	アメリカ・EU・ タイ・香港・ シンガポール	- 茶の加工・販売までを一貫して実施し、有機茶や抹茶を中心に海外市場へ展開 - 海外認証の取得や品質管理体制の強化を進め、アジア・北米・欧州向けの販路拡大に取組み
南日本酪農協同 (宮崎)	香港・台湾	- 牛乳・乳製品の製造から販売までを手掛け、「スコール」や「ヨーグルッペ」などの自社ブランド商品の輸出を推進 - アジア市場を中心に販売ネットワークを構築し、日本産乳製品・飲料の海外展開に取組み
テロワール・アンド・ トラディション・ ジャパン (東京)	フランス・スイス・ イタリア	- 日本各地の伝統食品や地域特産品を発掘し、EU圏向けに空輸で年間100フライトほどの輸出実績あり。空輸物流を活かし、生鮮品の輸出に強み - 欧州市場を中心に、生産者の想いや地域文化とともに日本食品の輸出拡大を推進
国分グループ (東京)	アメリカ・韓国・ 台湾・ASEAN	- 酒類・食品・関連消費財の卸売や貿易事業を展開し、国内外の幅広い流通網を構築 - 世界60カ国以上へ日本食品・酒類の輸出と海外販路開拓を通じ、日本産食品の輸出拡大を推進
デイブレイク (東京)	-	- 独自開発の特殊冷凍技術を活用し、あらゆる食品の品質を維持したまま、国内外への流通拡大を支援 - 米国への冷凍寿司輸出の実績を通じて培ったコールドチェーンや輸出に関するノウハウを活かし、日本の食品事業者の海外展開や輸出拡大に貢献

GFPのコンセプト ~“輸出チームづくり”・“一歩目”

海外大ロット販路の日本産ニーズを掘り起こした上で、安定供給可能なチームづくり・輸出産地育成を推進しつつ、“一歩目”を踏み出すプロモーションまで伴走することが必要。



- 複数品目のセット提案・メニュー提案可能な輸出チーム(例:寿司商材)
- 海外ニーズが見込めるポテンシャル品目のプロアクティブな提案

GFPにおける直近の取組テーマ・成功事例

概要

成功事例

現地系 販路開拓

- 更なる輸出拡大に向けて、現地系販路開拓に向けたサプライヤー・輸出商社・輸入業者等でのチームづくり
- 米国のハイエンド小売/地域性のある大手小売チェーンに対して複数品目のセット提案を実施

- **寿司商材セット提案
(米国ハイエンド小売)**
- **H-E-B(米系小売)**
- 九州農水産物直販

地方創生・ インバウンド

- インバウンド顧客をターゲットに、日本産品/日本食の認知度向上・帰国後再購入に繋がる仕組みづくり
- 地方で自立・自走できる輸出チームづくり・伴走支援を地域金融機関・自治体等と連携して実施

- **うるう農園(インバウンド)**
- GFP万博出展
- 萌す(クルーズ船積込)
- 鳥取銀行・境港水産チーム

外食・小売 海外展開

- 海外での更なる日本食・メニューの多様化・それに伴う日本産品の取扱拡大に向けて、日系プレイヤーの海外展開と連携した提案を実施

- **カルビーかいつか/エンパ
ワーアグロ(いもスイーツ店)**
- 百農社(華御結)
- バリスタートコーヒー

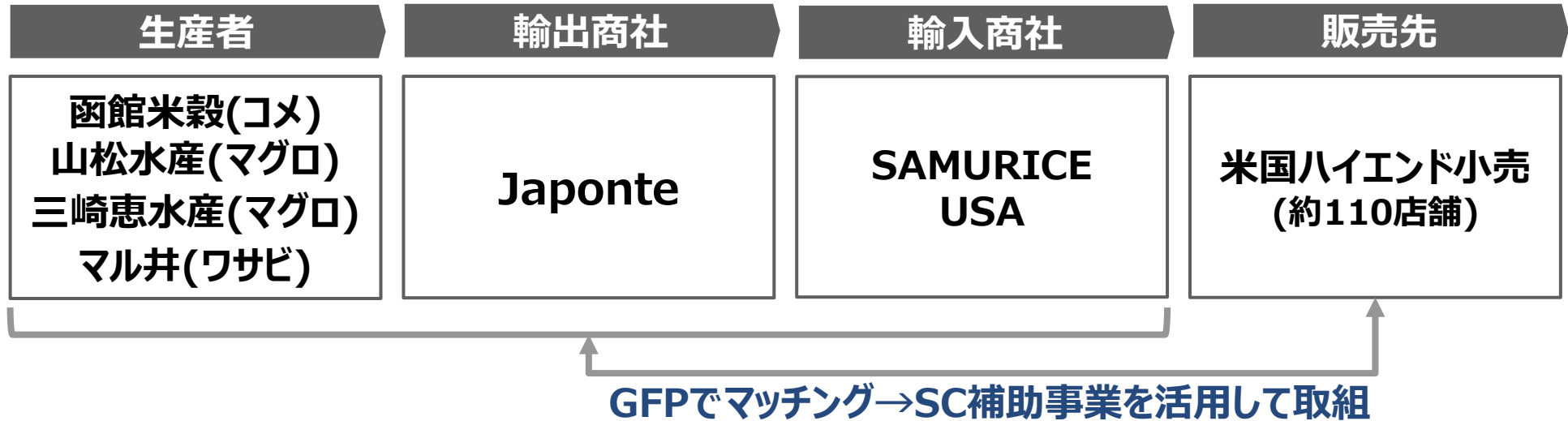
他領域との “かけ算”

- GFPの主旨である“イノベーション創出”に向けて、他領域・政策とのコラボレーションを継続的に推進
- 直近では成長戦略のテーマでもあるフードテック/アグリテック・経産省との連携を重視

- 輸出×フード/アグリテック
- 経産省:食輸出1万者支援プログラム

現地系販路開拓事例 ～米国ハイエンド小売開拓（寿司商材セット提案）

JETRO商談会をきっかけに、コメ・マグロを軸とした寿司商材をセット導入。補助事業を活用して、輸出用米の品質確保・現地小売が求める認証取得・プロモーション等を推進。



- 窒素充填包装設備の導入による高品質な北海道産米輸出体制の整備・マグロのMEL認証取得・高品質な輸出物流ルート構築・バイヤー招聘・現地プロモーションを一気通貫で推進
- 輸出用米の供給力(1600トン目標)・マグロの資材/輸送費高騰・現地冷凍コールドチェーンが課題

地方創生・インバウンド連携事例 ～うるう農園（福岡・いちご）

地域単位でカフェ・農泊等のインバウンド対応を行い、輸出と連動する形での多様ないちご体験を通じたファン化→帰国後の再購入につなげる仕組みづくりを推進。

訪日前

輸出＋インバウンド誘客

店頭プロモ/インフルエンサー連携



インバウンドツアー造成



訪日中

いちご体験・ファン化

いちご狩り体験・カフェ・土産販売



農泊施設(予定)



訪日後

再購入＋認知度向上

越境EC・ライブコマース



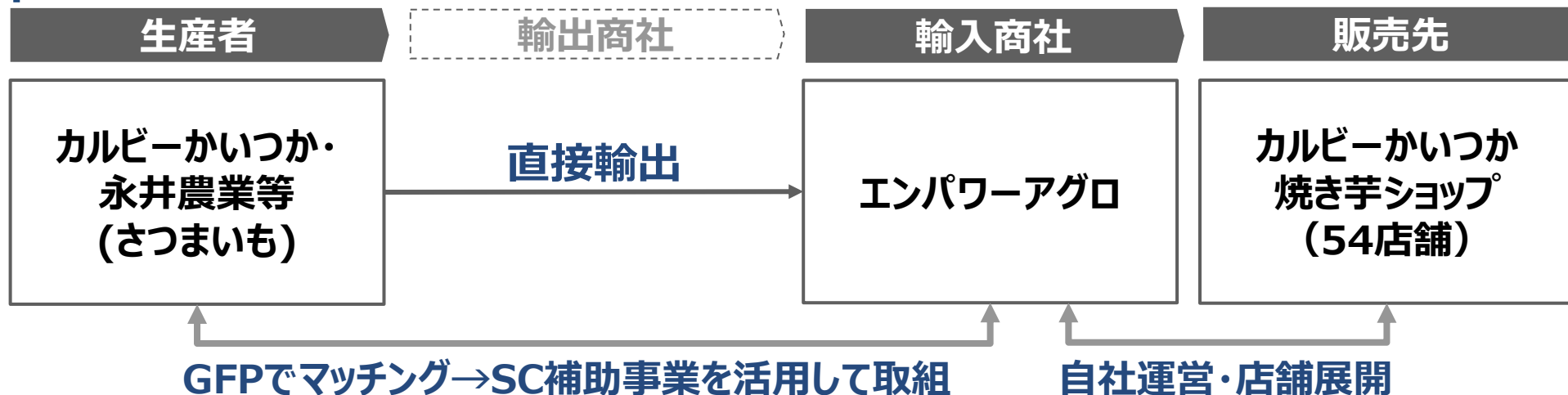
- ・訪日中に購入可能なECを整備
- ・帰国時に自宅に届く仕組み
- ・SNSを活用したライブコマースも実施

いちごカフェ海外展開(構想)



外食海外展開連携事例 ～タイにおける焼き芋ショップ展開

タイでエンパワーアグロが展開する「カルビーかいつか焼き芋ショップ」を54店舗へ拡大させ、ニーズに合わせたむらさき芋生産～輸出特化型の選果ライン等を一気に通貫で整備。



- 「カルビーかいつか焼き芋ショップ」の展開を54店舗へと拡大させ、日本産さつまいもの消費メニューの多様化と需要の底上げに成功(507トン/年のタイ向け輸出拡大に成功)
- 「むらさき芋」等の希少な新品種の栽培及び生産技術の確立・タイ輸出専用の出荷箱・資材の導入と海上パレット輸送の検証等を実施

海外市場の動向

国別輸出動向 ～2026年5月期

2025年に輸出額:1.7兆円に到達。2026年は、引き続き米国の存在感が高まっているが、アジア向け(特に東アジア)も含めて堅調に推移。

順位	2026年1-5月（累月）							2026年5月（単月）				
	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）			輸出額 （億円）	前年 同月比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	米国	1,362	19.5	+17.6	830	42	490	299	+36.9	183	8	107
2	香港	874	12.5	+3.1	547	8	319	170	+5.9	111	1	58
3	中国	776	11.1	+3.3	588	158	31	146	▲ 7.2	109	31	6
4	台湾	743	10.6	+9.6	588	17	138	137	+9.8	107	3	27
5	韓国	500	7.2	+20.2	308	18	174	92	+14.4	65	4	23
6	ベトナム	450	6.4	+38.4	214	5	230	85	+38.7	42	2	41
7	タイ	338	4.8	+9.6	162	4	172	63	+12.1	30	1	32
8	シンガポール	261	3.7	+20.5	210	3	48	54	+19.5	46	0	8
9	オーストラリア	164	2.3	+20.5	141	1	22	30	+41.1	28	0	2
10	マレーシア	150	2.2	+42.3	108	1	41	27	+36.4	18	0	9
－	E U	478	6.8	+27.0	403	10	65	82	+1.8	72	2	9

輸出額 推移

- 2026年1月～5月期の輸出額は6,980億円(前年比+12.2%)と堅調に推移しているが、春節タイミング・円安効果も大きく、中東情勢の影響もあり、楽観視できない状況
- 最大市場の米国が底堅く推移しており、韓国・台湾・ベトナム(原料・加工用輸出の伸びが中心)への輸出も伸長。品目別では、ブリ・抹茶が輸出を牽引

生産環境

- 従来からの担い手減少・気候変動に加えて、中東情勢に起因する原油・資材の高騰/不足が発生し、品質・供給量維持のハードルが上がっている環境
- 供給量が不足する場合、足元の国内市場向けが優先されるケースが多く、一次产品中心に輸出の気運がやや下がっている印象

輸出先国 市場環境

- 中国の景気が戻っておらず、日本産がターゲットとしている各国の華僑系市場が影響を受ける形でやや低調(香港・シンガポール・タイ等)
- インド・インドネシア・フィリピン・中南米等のポテンシャルの大きなネクストマーケット開拓も進んでいるが、まだ種まきの域を出ない段階

競合環境

- 青果物(シャインマスカット・いちご等)・和牛に加えて、加工食品・抹茶等も含めて、韓国・中国・豪州といった競合国も生産&輸出注力(模倣品だけでなく品質自体も向上)
- 競争に勝つためには、供給力&品質の両立及び“現地で売れる”価格構造の設計に加えて、日本らしい勝ち筋(新品種・ブランディング・食文化/アニメセット)を考える必要

輸出拡大に向けた方向性

- 特定の巨大市場（米国・中国）に依存しない**輸出先国の多角化**
（カナダ・韓国・ASEAN・オセアニア等）
- 米国をはじめとした**非日系販路**の戦略的な開拓（アジア系に加えて、中堅&地域性のある現地系チェーン店が有望）
- 欧米を中心に強化される**規制への確実な対応**（着色料・包材等）
- 他国産との競合も見据えた、現地ニーズに基づく**商品のブラッシュアップ**
（マーケットイン&供給力拡大と合わせたコスト競争力担保）
- **インバウンド**での認知度向上→手土産輸出→現地での再購買・認知度向上→（再びインバウンドへ）、のサイクルの実現
- 海外展開する**日系外食チェーン・コンビニチェーン**との連携・多様化する日本食マーケットへの先手での提案（手巻き寿司・抹茶ドリンク等）

海外ニーズが高い品目

生産・供給サイドの不安定さがネックとなっており、気候変動・担い手不足に対応できる輸出産地づくりが急務。

- 抹茶・煎茶(粉末緑茶中心)
- 畜産：和牛・交雑種・乳製品(アイス・粉ミルク等)
- 水産：ブリ・ホタテ・“第二のブリ・ホタテ”・マグロ・真珠・のり
- 青果：桃・いちご・ゆず・“第二のゆず”・かんしょ・メロン・わさび・B品/規格外品(業務用)
- コメ・コメ加工品(冷凍米飯・冷凍寿司・包装米飯)
- 日本酒・ウィスキー・梅酒・フレーバー焼酎

海外ニーズが高い品目

日本食の更なる広がり・インバウンドを通じた日本産品の認知度向上を捉えた商品が有望。健康志向・簡便性志向も継続。

- **日本食メニュー単位**：寿司/おにぎり関連商材・粉もの関連商材・ラーメン/鍋/スープセット
- **インバウンド起点**：ソース類・焼肉のタレ・ドレッシング・麺類・カレー・ソフトグミ・抹茶/ゆず関連・和スイーツ・漬物
- **健康志向**：発酵食品（納豆・大豆加工品等）・豆乳・ノンアルコールビール・茶系飲料等
- **簡便性/人手不足対策**：冷凍食品（冷凍寿司等含む）・外食向け半製品

17の戦略分野における官民連携での危機管理投資・成長投資の促進

戦略分野分科会 1月～

(分科会長：副長官(衆)、分科会長代理：副長官補(内政)、関係省庁局長級)

- | | |
|--|---|
| ① AI・半導体
新設 AI・半導体WG
1月～
○人工知能戦略大臣 ○経産大臣
・関係省庁 (NSS、警察、金融、デジタル、総務、外務、文科、厚労、農水、国土、環境、防衛)
・有識者 9名 | ⑩ 防災・国土強靱化
国土強靱化推進会議
2月～
○国土強靱化大臣 (出席)
防災大臣 (出席)
・関係省庁 (内閣府 (防災)、総務、厚労、国土、環境)
・有識者 19名 |
| ② 造船
新設 造船WG
1月～
○国土大臣 ○経済安全保障大臣
・関係省庁 (NSS、内閣府 (科技)、入国、外務、文科、経産、環境、防衛)
・有識者 7名 | ⑪ 創薬・先端医療
新設 創薬・先端医療WG
1月～
○科技政策大臣 ○デジタル大臣
・関係省庁 (文科、厚労、経産 (いずれも政務))
・有識者 10名 |
| ③ 量子
新設 量子WG
1月～
○科技政策大臣
・関係省庁 (総務 (政務)、外務、文科 (政務)、経産 (政務)、防衛)
・有識者 7名 | ⑫ フュージョンエネルギー
新設 フュージョンエネルギーWG
1月～
○科技政策大臣
・関係省庁 (文科、経産、規制 (部長級))
・有識者 7名 |
| ④ 合成生物学・バイオ
新設 合成生物学・バイオWG
1月～
○経産大臣
・関係省庁 (内閣府 (科技、健康医療)、文科、厚労、農水、国土)
・有識者 12名 | ⑬ マテリアル (重要鉱物・部素材)
産業構造審議会 製造産業分科会
2月～
○経産大臣 (出席)
・関係省庁 (内閣府 (科技)、外務、文科、環境)
・有識者 15名 |
| ⑤ 航空・宇宙
新設 航空・宇宙WG
1月～
○経済安全保障大臣
・関係省庁 (内閣府 (宇宙)、総務、文科、経産、国土、防衛)
・有識者 10名 | ⑭ 港湾ロジスティクス
新設 港湾ロジスティクスWG
1月～
○国土大臣
・関係省庁 (サイバー統括部、財務、経産)
・有識者 9名 |
| ⑥ デジタル・サイバーセキュリティ
新設 デジタル・サイバーセキュリティWG
1月～
○経産大臣
・関係省庁 (デジタル大臣、総務、文科、厚労)
・有識者 11名 | ⑮ 防衛産業
新設 防衛産業WG
1月～
○経産大臣 ○防衛大臣
・関係省庁 (NSS (審議官級))
・有識者 18名 |
| ⑦ コンテンツ
新設 コンテンツ産業官民協議会
1月～
○CJ戦略大臣
・関係省庁 (公取 (審議官級)、総務、外務、文科、経産)
・有識者 15名 | ⑯ 情報通信
新設 情報通信成長戦略官民協議会
1月～
○総務大臣
・関係省庁 (経産、防衛)
・有識者 12名 |
| ⑧ フードテック
新設 フードテックWG
12月～
○農水大臣
・関係省庁 (経産)
・有識者 7名 | ⑰ 海洋
新設 海洋WG
1月～
○海洋政策大臣
・関係省庁 (NSS、内閣府 (科技、宇宙)、外務、文科、水産、経産、国土、海保、環境、防衛)
・有識者 10名 |
| ⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX
GX実現に向けた専門家WG
1月～
○経産大臣 (出席)
・関係省庁 (外務、財務、経産、環境)
・有識者 7名 | |

○：責任大臣 ※議題は別途、今後、変更の可能性あり

分野横断的課題への対応

- | |
|---|
| ①【新技術立国・競争力強化】
産業構造審議会
経済産業政策新機軸部会等
1月～
○経産大臣
・関係省庁 (内閣府 (科技)、文科)
・有識者 13名 |
| ②【人材育成】
新設 人材育成分科会
1月～
○文科大臣
・関係省庁 (内閣府 (科技)、総務、厚労、経産)
・有識者 4名 + テマごとに 2名 |
| ③【スタートアップ】
新設 スタートアップ政策推進分科会
1月～
○スタートアップ大臣、内閣府副大臣、内閣府政務官 (スタートアップ・金融)、経産副大臣
・関係省庁 (内閣府 (GSC室)、内閣府 (科技、規制)、金融、デジタル、総務、文科、厚労、農水、経産、国土、環境、防衛)
・有識者 10名 |
| ④【金融】
新設 新戦略策定のための
資産運用立国推進分科会
1月～
○金融大臣、副長官(衆)
・関係省庁 (金融、総務、財務、文科、厚労、経産)
・有識者 10名 |
| ⑤【労働市場改革】
新設 労働市場改革分科会
1月～
○厚労大臣
・関係省庁 (内閣府 (成長戦略)、内閣府 (規制)、経産省、国土省、文科省)
・有識者 11名 |
| ⑥【家事等の負担軽減】
新設 家事等の負担軽減に資するサービスの
利用促進に関する関係府省連絡会議
1月～
副長官補 (内政) ・関係省庁 (内閣府 (成長戦略)、こ家、厚労、経産)
こども家庭審議会子ども子育て支援分科会、労働政策審議会人材開発分科会、労働政策審議会雇用環境・均等分科会等でも議論 |
| ⑦【賃上げ環境整備】
政労使の意見交換
11月～
○賃上げ環境整備大臣
再編 賃上げに向けた中小企業等の活力向上に関するWG
(副長官(衆)ヘッド・内閣府副長官補(内政)、内閣府 (審議官級)、成長戦略、地域未来)、警察、金融、総務、財務、国土、文科、厚労、農水、経産、中企、国土、環境)
中小企業政策審議会、労働政策審議会でも議論 |
| ⑧【サイバーセキュリティ】
サイバーセキュリティ推進専門家会議
2月～
○サイバー安全保障大臣 (出席)
・関係省庁 (内閣府 (サイバー)、警察、総務、文科、経産、防衛)
・有識者 18名 |

※対応者の記載がないものは原則局長級

フードテックの類型

植物工場・陸上養殖・食品機械・新規食品の4分類であり、冷凍技術を含めた鮮度保持にもフォーカス。宮崎県はアグリテック含めて関連事業者が多く、フードテック先進自治体。

植物工場

陸上養殖

食品機械

新規食品

食品加工
鮮度保持

今年度から、農林水産省・フードテック官民協議会の事務局も受託しております！
新規食品、食品機械、植物工場、陸上養殖の4つの領域を中心に、
国内外のフードテックをめぐる動向やイベント等の情報共有、セミナー等を開催しております。
関心のある方は、ぜひ会員登録をお願いいたします！

※廃棄される食を活用した「アップサイクルフード」、ロス削減に向けた「鮮度保持技術」などもテーマの一つです！

フードテック官民協議会の取組み

総会

協議会の重要事項の決議、ワーキング活動報告、会員企業からのピッチや展示、ネットワーキングを年3回で実施。

ワーキング活動

プラントベースフード、細胞農業、ヘルス・フードテック、金融やスタートアップなどの作業部会で、専門的な議論を行い、協調領域で集まるコミュニティ活動を開催。

セミナー・勉強会

フードテックに関わるセミナー、勉強会、展示会や地方と連携したフードテックイベントを複数を実施。

ビジネスコンテスト

持続可能な食料、生産性向上、健康な食生活の3つのテーマをフードテックで実現するためのアイデアを募集し、ビジネス部門と個人部門で年1回実施。

フードテック官民協議会へ参加するメリット

最新フードテック情報の共有

情報発信の場の提供



フードテック官民協議会

ネットワーキング構築

オープンイノベーション推進

政策提言・対話



ぜひご登録ください！

輸出に関心のある皆様 GFPへの登録をお願いします。



こんな方にGFPは最適です！

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！
- ビジネスパートナーを探したい！
- 輸出に関わる情報を効率よく入手したい！

GFPを通じた成約事例も続々と出ています！

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

Agri_Exportation_JP@accenture.com

